

全体的な評価をお願いします	シンポジウムを通して得られた学びや気づきを教えてください
大変良かった	時間も気力もなく、自分では決して集めきれない膨大な量の各国の生成AIの研究・取り組み状況や国内の活用事例等をお聞きできました。まだまだ生成AIについて及び腰でしたが、気軽に日常に取り込んでいきたいと思いました。
大変良かった	
大変良かった	生成AIの現地点を考えるきっかけになりました。
大変良かった	
良かった	アーカイブで拝聴したかったため、申し込みました。
大変良かった	AIの進化スピードの速さ、AIの「反省」能力獲得、中国の台頭と日本の出遅れ（かなり危機感を感じる）
大変良かった	視野が広がる大変学びの多いシンポジウムでした。須藤修先生のおっしゃっていた、未来を生きる子供たちが「使われてはいけない」「使いこなす」ために授業改善（PBL）が大切だと深く学びました。また、今お話しして下さった人の5感。そして第6感。非常に大切だと思いました。山本様の未来への展望や梶様の未来の授業へのご発言も感銘を受けました。PBLの学びを支える子供たちの学びの過程を支えるには教師1人で生徒40人は厳しいですが、AIの活用が大切になると思います。教師はどんどん伴奏者となって子供たちの多様な学びが展開されるよう勉強を重ねて行きたいと思いました。原初の時代から人が人として生きるために必要な創造する力を高め、生成AIなど今後さらに進化する科学技術で活かしていけるような力を子供たちの幸福な未来のために関与できる教育の可能性について世界が広がりました。そのためには、子供たち一人ひとりに山本様や梶様のような社会に貢献する意欲が根底に必要であるように感じました。ありがとうございました。
大変良かった	須藤先生の生成AIに関する国際的な動向の解説の基調講演が大変ためになりました。今のままでは、日本は負け続けていると（勝ち負けではないのかもしれませんが）。デジタル人頭税を払い続けることとなりますね。
大変良かった	「まなびあい」は助かります。
どちらともいえない	
大変良かった	生成AIに関して、なんとなく持っていた知識やイメージを補強したり修正したりするととても貴重な機会となりました。
大変良かった	生成AIが世界的にどのように、どの程度まで現在開発されているか、また、今後の展望に関する情報が得られた。
どちらともいえない	生成AIの歴史的な部分や、他国との相違点などに気付けたのは良かった。それらに加えもう少しフィールドワークの内容なども聞けたら「理論と実践」を両方聞くことができよかったですと感じました。
大変良かった	AI開発の全貌が分かって、ためになりました。欧州の取り組みの中に、Habermas Machineがあるのを知って驚きました。AI活用の1つの方向性だと思います。
大変良かった	まだまだ勉強不足なところはあるのですが、生成AIの国際動向について少しキャッチアップできた気がしています。AIの民主化のお話を聞いた時に、以前はプログラミングを学んだ一部の人がしか扱えなかったものが、一般人でも扱えるようになったからには、AIリテラシーを学校でも教える必要があるなと思いました。
大変良かった	
良かった	アメリカ等海外の様子が歴史的背景や経緯とともにうかがえた点が大変勉強になりました。
良かった	生成AIの利活用は避けて通れないため、どう使っていくのかを学生に伝えていくことが大切だと痛感しました。
大変良かった	